



## 2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月10日

上場会社名 富士石油株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5017 URL https://www.foc.co.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)山本 重人  
 問合せ先責任者 (役職名)総務部部长 (氏名)鈴木 龍司 (TEL)03(5462)7803  
 定時株主総会開催予定日 2024年6月26日 配当支払開始予定日 2024年6月27日  
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月26日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	723,730	△14.9	16,199	222.1	18,735	298.2	15,516	333.9
2023年3月期	850,863	75.1	5,028	△69.1	4,704	△70.7	3,575	△76.5
(注) 包括利益	2024年3月期 15,464百万円 (96.8%)		2023年3月期 7,859百万円 (△54.1%)					

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	201.09	—	19.7	5.2	2.2
2023年3月期	46.36	—	5.3	1.4	0.6
(参考) 持分法投資損益	2024年3月期 2,431百万円		2023年3月期 2,277百万円		

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	389,960	86,350	22.1	1,116.54
2023年3月期	336,985	71,658	21.2	926.31
(参考) 自己資本	2024年3月期 86,155百万円		2023年3月期 71,476百万円	

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	7,442	△5,119	△1,229	9,568
2023年3月期	△5,989	△726	7,539	8,329

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
	—	0.00	—	10.00	10.00	773	21.6	1.1
2024年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00	1,159	7.5	1.5
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	12.00	12.00		13.2	

(注) 2024年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 12円00銭 記念配当 3円00銭 (創立60周年記念配当)

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	430,200	34.6	4,400	△64.1	3,900	△71.3	2,700	△75.9	34.99
通期	829,900	14.7	9,400	△42.0	8,400	△55.2	7,000	△54.9	90.72

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数

2024年3月期	78,183,677株	2023年3月期	78,183,677株
2024年3月期	1,020,912株	2023年3月期	1,020,910株
2024年3月期	77,162,767株	2023年3月期	77,130,619株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	713,990	△15.1	15,891	246.4	15,610	764.2	12,584	—
2023年3月期	841,424	76.4	4,587	△71.1	1,806	△87.8	625	△95.4

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	162.77	—
2023年3月期	8.09	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2024年3月期	358,405		54,082		15.1		699.48	
2023年3月期	311,471		44,738		14.4		578.63	

(参考) 自己資本 2024年3月期 54,082百万円 2023年3月期 44,738百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「今後の見通し」をご覧ください。

当社は、機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する決算説明資料については、TDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載する予定です。また、決算説明会の文字起こし及び質疑応答要旨を、決算説明会後数日以内に当社ホームページに開示する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	5
2. 企業集団の状況	6
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	7
4. 連結財務諸表及び主な注記	8
(1) 連結貸借対照表	8
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	10
(3) 連結株主資本等変動計算書	12
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	14
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	16
(継続企業の前提に関する注記)	16
(セグメント情報等)	16
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17
5. 個別財務諸表及び主な注記	18
(1) 貸借対照表	18
(2) 損益計算書	20
(3) 株主資本等変動計算書	21

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

#### 【当社グループを取り巻く事業環境】

期初1バレルあたり84ドル台で始まったドバイ原油価格は、欧米の中央銀行による相次ぐ利上げ等により世界経済の後退懸念に伴う原油需要減が意識されたことから、6月には71ドル台まで下落しました。その後、サウジアラビアやロシアが自主的な追加減産を表明したことで、需給が逼迫するとの見方から、9月には90ドルを超える水準まで上昇しました。10月に入ると、イスラエルとハマスの間で武力衝突が発生したものの、原油供給に与える影響が限定的であったことから、12月には70ドル前半まで下落しました。1月以降は、中東情勢の緊迫化やウクライナによるロシアの製油所への攻撃が相次いだことで、石油供給が減少するとの懸念が強まったことから、80ドル台中盤まで上昇する展開となりました。この結果、期中平均では前期を約10ドル下回る82ドルとなりました。

一方、期初1ドル133円台前半で始まった外国為替相場は、4月に日銀が金融緩和策継続を決定しそれ以降も方針が維持されたこと、米国でインフレ抑制のための利上げサイクルが長期化したことを背景に、11月には151円台まで円安が進行しました。その後日銀の政策修正観測の高まりを受け、12月末には141円台まで円高に振り戻しましたが、年明け以降は、堅調な米国の経済指標を受けた早期利下げ観測の後退等により円安基調で推移しましたが、3月には日銀がマイナス金利の解除を決定したものの、当面は緩和的な金融環境を維持することとしたため、むしろ円安が進行して当期末は151円台半ばで取引を終了しました。この結果、期中平均は前期より9円の円安となる144円台半ばとなりました。

石油製品の国内需要につきましては、ガソリンはハイブリッド車の普及など構造的要因を背景に前期比99.4%、灯油は全国的に暖冬であったことや暖房・給湯エネルギー源の転換が進んだことにより前期比96.3%、軽油は貨物輸送の効率化やトラックの燃費改善による影響を受けて前期比98.6%となりました。一方で、ジェット燃料は旅客貨物輸送需要の回復が進み前期比108.8%となりました。この結果、燃料油総量としては前期比95.9%の需要となりました。

#### 【当社グループ事業の状況】

##### <石油精製・販売事業>

袖ヶ浦製油所では、2023年5月から6月に生産設備の運転を停止し、点検・補修作業を行う小規模定期修理を実施したに加え、一部設備の不具合等の影響もあり、原油処理量は前期に比べ9.1%減となる6,949千キロリットル、常圧蒸留装置の稼働率は年度平均で83.5%となりました。

当社の当期における石油製品及び石油化学製品等の販売数量につきましては、前期に比べ9.2%の減少となる7,287千キロリットルとなりました。

油種別では、灯油は前期比36.7%の減少となりましたが、一方、C重油は前期に比べ139.3%の増加となりました。

##### <グループ会社の動き>

PETRO PROGRESS PTE LTDはシンガポールに本拠を置き、当社の重要な海外拠点として、引き続き原油及び石油製品の調達、販売等の営業活動を行っております。

日本オイルエンジニアリング株式会社は、従来の石油・天然ガスの開発・生産分野におけるエンジニアリング及びコンサルティング事業に加え、二酸化炭素を利用した原油の増進回収(CO<sub>2</sub>-EOR)、二酸化炭素排出削減に向けた二酸化炭素の回収貯留(CCS/CCUS)技術、メタンハイドレート開発、地熱、洋上風力発電等に関する環境エンジニアリング及びコンサルティング事業等への事業領域拡大を進め、低炭素社会の実現に向けた取組みを行っております。

【連結業績の概要】

このような事業環境のもと、当期の連結業績につきましては、売上高は小規模定期修理の実施に伴う販売数量の減少等により、前年同期比1,271億円減収の7,237億円となりました。

損益につきましては、在庫影響（総平均法及び簿価切下げによる棚卸資産の評価が売上原価に与える影響）による原価の押し下げ要因が96億円と前期より大幅に拡大したこと（前期は6億円の原価押し下げ要因）や、石油製品市況が堅調に推移したことなどにより、営業損益は前期と比較して111億円増益となる161億円の利益となりました。経常損益は、前期と比較して140億円増益となる187億円の利益となりました。親会社株主に帰属する当期純損益は、前期と比較して119億円増益となる155億円の利益となりました。

なお、当期の在庫影響を除いた実質ベースの損益については、営業利益相当額は65億円（前期比21億円増益）、経常利益相当額は90億円（前期比50億円増益）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## (流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べ507億円増加の2,616億円となりました。主な要因は、棚卸資産の増加349億円、受取手形及び売掛金の増加149億円であります。

## (固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末と比べ22億円増加の1,282億円となりました。主な要因は、投資有価証券の増加42億円、機械装置及び運搬具の減少22億円であります。

## (流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比べ366億円増加の2,632億円となりました。主な要因は、買掛金の増加236億円、未払揮発油税の増加57億円、未払法人税等の増加24億円であります。

## (固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末と比べ16億円増加の403億円となりました。主な要因は、繰延税金負債の増加7億円、修繕引当金の増加7億円であります。

## (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ146億円増加の863億円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加147億円であります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当期末における現金及び現金同等物は、前期末に比して12億円増加し、95億円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

前期においては、仕入債務の減少313億円等による支出が、売上債権の減少92億円による収入を上回ったことにより、キャッシュ・フローは59億円の支出となりました。

一方、当期においては、仕入債務の増加236億円等による収入及び税金等調整前四半期純利益185億円が、棚卸資産の増加349億円等による支出を上回ったことにより、キャッシュ・フローは74億円の収入となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

前期においては、主に製油所施設等に係る有形固定資産の取得15億円等により、キャッシュ・フローは7億円の支出となりました。なお、これらの投資資金は借入金及び自己資金等により賄いました。

一方、当期においても、主に製油所施設等に係る有形固定資産の取得45億円等により、キャッシュ・フローは51億円の支出となりました。なお、これらの投資資金は借入金及び自己資金等により賄いました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

前期においては、短期借入金の純増加182億円等による収入により、キャッシュ・フローは75億円の収入となりました。

一方、当期においては、長期借入金の純減少16億円等による支出により、キャッシュ・フローは12億円の支出となりました。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
自己資本比率	16.8%	19.0%	18.2%	21.2%	22.1%
時価ベースの自己資本比率	5.9%	7.0%	5.8%	6.1%	9.4%
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	25.8年	4.9年	—	—	21.7年
インタレスト・カバレッジ・レシオ	1.9倍	16.5倍	—	—	4.3倍

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としています。

#### (4) 今後の見通し

本見通しは、原油価格（ドバイ原油）80ドル／バレル、為替レート150円／ドルを前提としております。

次期におきましては、小規模定期修理を実施した当期とは異なり、高い稼働率での生産体制が見込まれることから、売上高は増収となる見通しであります。

一方で損益面では、小規模定期修理の影響が解消するものの、当期において主な増益要因となっていた在庫影響（総平均法及び簿価切り下げによる棚卸資産の評価が売上原価に与える影響）は、次期においてはほぼ発生しないと見込んでおり、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに当期より減益となる見通しであります。

これらにより、次期の連結業績は、売上高8,299億円、営業利益94億円、経常利益84億円、親会社株主に帰属する当期純利益70億円と予想しています。また、在庫影響を除いた営業利益相当額は96億円、経常利益相当額は86億円と見込んでおります。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいています。実際の業績は、様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

#### (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は株主各位への利益還元を重要な経営課題のひとつと考えており、中・長期的な事業発展のための内部留保の充実に留意しつつ、業績及び資金バランス等を勘案の上、安定的な配当の継続に努めることをグループ経営方針にも掲げております。

当期におきましては、4期連続の黒字決算となったことに加え、在庫影響を取り除いた実質ベースの損益でも2期連続の黒字決算となり、当社収益力の一定の向上が確認できる結果となりました。他方で、当社にとって財務体質の改善は引き続き重要であり、内部留保の一層の充実に努める必要があります。

以上の事情等を総合的に勘案し、株主還元を拡充することとし、2024年3月期の期末配当については、前回予想の1株当たり10円から2円増配し、普通配当として1株当たり12円とさせていただきます。また、2024年4月で、当社の前身となる旧富士石油株式会社の創立から60年を迎えたことから、1株当たり3円の記念配当を実施し、普通配当と併せ、2024年3月期の期末配当を1株当たり15円とさせていただきます。

なお、次期の配当につきましては、1株当たり12円を予定しております。



2. 企業集団の状況

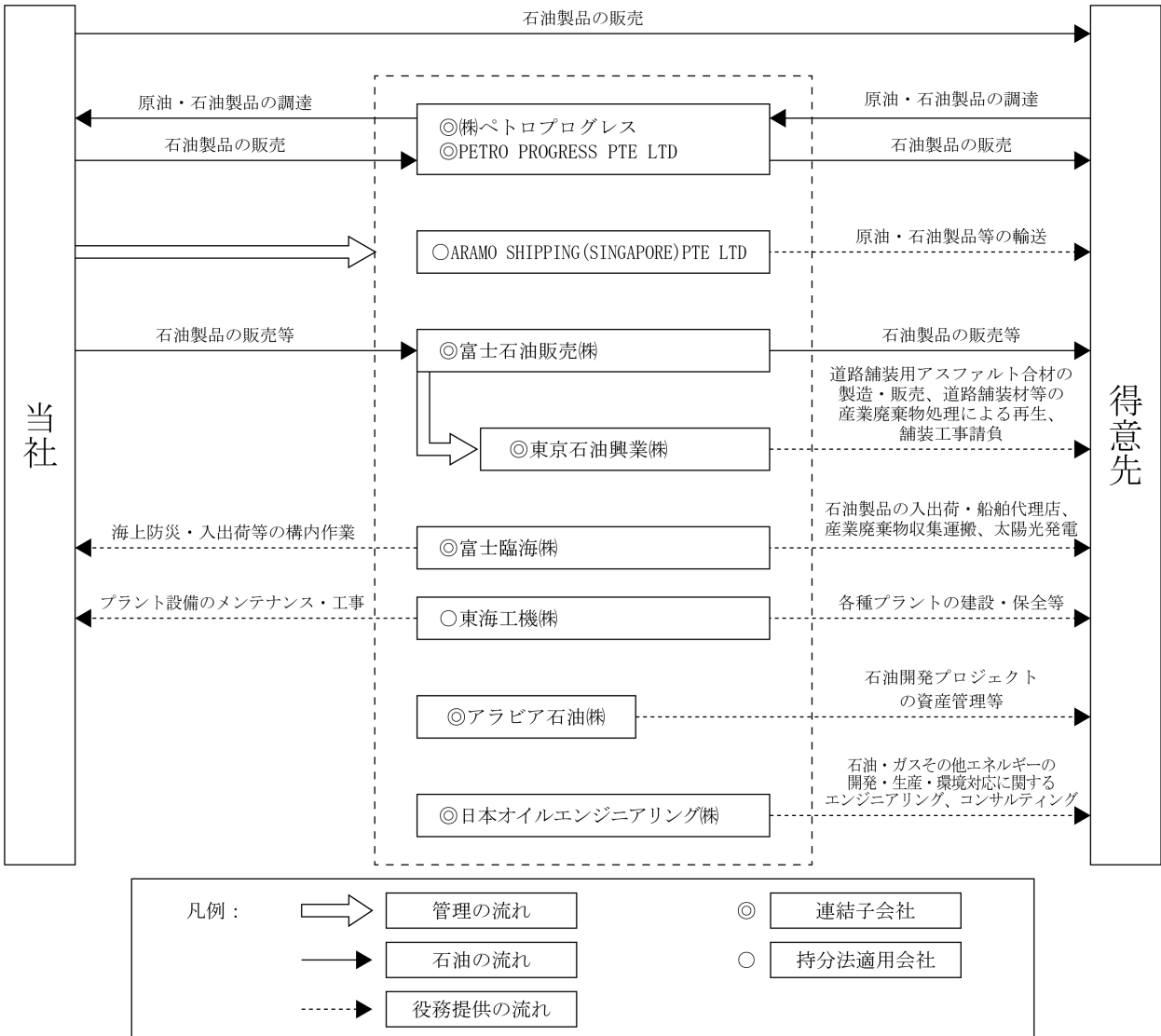
当社グループは、当社、連結子会社7社及び持分法適用会社2社で構成され、石油の精製、貯蔵、調達、売買及び原油・石油製品等の輸送・入出荷を主な事業内容としています。

当社グループの事業に係る位置付けについては次のとおりです。

(2024年3月31日現在)

会社名	業務の内容
当社	石油の精製、貯蔵、調達、販売等
㈱ペトロプロGRESS PETRO PROGRESS PTE LTD	原油・石油製品の調達、販売
ARAMO SHIPPING (SINGAPORE) PTE LTD	原油タンカー・LPGタンカーの保有、運航
富士石油販売㈱	石油製品の販売等
東京石油興業㈱	道路舗装用アスファルト合材の製造・販売、道路舗装材等の産業廃棄物処理による再生、舗装工事請負
富士臨海㈱	海上防災、原油・石油製品の入出荷、産業廃棄物の収集運搬、太陽光発電
東海工機㈱	各種プラントの建設・保全等
アラビア石油㈱	石油開発プロジェクト関連の資産管理等
日本オイルエンジニアリング㈱	石油・ガス・その他エネルギーの開発・生産・環境対応に関するエンジニアリング、コンサルティング

当社グループ会社と関連当事者の関係を系統図で示すと次のとおりです。





### 3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、当面は日本基準に基づき連結財務諸表を作成する方針です。

なお、I F R Sの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 4. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,463	13,801
受取手形、売掛金及び契約資産	69,461	84,380
有価証券	-	500
棚卸資産	119,288	154,249
未収入金	1,929	6,788
その他	7,827	1,969
流動資産合計	210,970	261,690
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,056	11,560
油槽（純額）	2,651	2,483
機械装置及び運搬具（純額）	29,862	27,628
土地	51,541	51,314
建設仮勘定	1,152	1,667
その他（純額）	590	579
有形固定資産合計	97,855	95,234
無形固定資産		
ソフトウェア	478	665
その他	134	244
無形固定資産合計	612	909
投資その他の資産		
投資有価証券	26,169	30,459
長期貸付金	641	641
退職給付に係る資産	761	955
その他	380	476
貸倒引当金	△407	△407
投資その他の資産合計	27,545	32,125
固定資産合計	126,014	128,269
資産合計	336,985	389,960

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	35,792	59,487
短期借入金	130,316	132,303
1年内返済予定の長期借入金	10,949	9,259
未払金	26,402	24,827
未払揮発油税	16,482	22,279
未払法人税等	213	2,617
賞与引当金	336	355
その他	6,052	12,092
流動負債合計	226,545	263,222
固定負債		
長期借入金	19,793	19,813
繰延税金負債	8,854	9,651
特別修繕引当金	2,387	2,874
修繕引当金	5,080	5,797
退職給付に係る負債	1,740	1,615
役員退職慰労引当金	23	26
その他	900	606
固定負債合計	38,780	40,387
負債合計	265,326	303,609
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,467	24,467
資本剰余金	25,495	25,495
利益剰余金	18,653	33,398
自己株式	△1,271	△1,271
株主資本合計	67,345	82,090
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	842	1,472
繰延ヘッジ損益	155	△2,633
土地再評価差額金	1	1
為替換算調整勘定	2,571	4,544
退職給付に係る調整累計額	560	680
その他の包括利益累計額合計	4,130	4,064
非支配株主持分	182	194
純資産合計	71,658	86,350
負債純資産合計	336,985	389,960

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	850,863	723,730
売上原価	840,916	701,607
売上総利益	9,946	22,122
販売費及び一般管理費	4,917	5,923
営業利益	5,028	16,199
営業外収益		
受取利息	77	229
受取配当金	222	134
為替差益	1,193	1,802
持分法による投資利益	2,277	2,431
タンク賃貸料	217	207
その他	314	389
営業外収益合計	4,303	5,194
営業外費用		
支払利息	3,725	1,738
タンク賃借料	202	200
その他	699	719
営業外費用合計	4,627	2,658
経常利益	4,704	18,735
特別利益		
固定資産売却益	0	12
投資有価証券売却益	41	-
受取保険金	-	41
特別利益合計	41	53
特別損失		
固定資産除却損	432	25
減損損失	0	227
リース解約損	-	0
特別損失合計	432	253
税金等調整前当期純利益	4,313	18,535
法人税、住民税及び事業税	960	2,763
法人税等調整額	△235	241
法人税等合計	724	3,004
当期純利益	3,588	15,530
非支配株主に帰属する当期純利益	13	13
親会社株主に帰属する当期純利益	3,575	15,516

## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	3,588	15,530
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	230	629
繰延ヘッジ損益	747	△2,788
為替換算調整勘定	680	360
退職給付に係る調整額	△228	119
持分法適用会社に対する持分相当額	2,841	1,612
その他の包括利益合計	4,270	△66
包括利益	7,859	15,464
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	7,845	15,450
非支配株主に係る包括利益	13	13

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2022年4月1日 至2023年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	24,467	25,495	15,977	△1,431	64,508
当期変動額					
剰余金の配当			△770		△770
親会社株主に帰属する当期純利益			3,575		3,575
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		△128		160	32
利益剰余金から資本剰余金への振替		128	△128		-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					-
当期変動額合計	-	-	2,676	160	2,837
当期末残高	24,467	25,495	18,653	△1,271	67,345

	その他の包括利益累計額						非支配株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損 益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	612	△591	1	△950	789	△139	170	64,539
当期変動額								
剰余金の配当								△770
親会社株主に帰属する当期純利益								3,575
自己株式の取得								△0
自己株式の処分								32
利益剰余金から資本剰余金への振替								-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	230	747		3,521	△228	4,270	11	4,281
当期変動額合計	230	747	-	3,521	△228	4,270	11	7,119
当期末残高	842	155	1	2,571	560	4,130	182	71,658

当連結会計年度(自2023年4月1日 至2024年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	24,467	25,495	18,653	△1,271	67,345
当期変動額					
剰余金の配当			△771		△771
親会社株主に帰属する当期純利益			15,516		15,516
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					-
当期変動額合計	-	-	14,745	△0	14,745
当期末残高	24,467	25,495	33,398	△1,271	82,090

	その他の包括利益累計額						非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	842	155	1	2,571	560	4,130	182	71,658
当期変動額								
剰余金の配当								△771
親会社株主に帰属する当期純利益								15,516
自己株式の取得								△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	629	△2,788		1,972	119	△66	12	△53
当期変動額合計	629	△2,788	-	1,972	119	△66	12	14,691
当期末残高	1,472	△2,633	1	4,544	680	4,064	194	86,350



## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	4,313	18,535
減価償却費	7,689	7,716
修繕引当金の増減額 (△は減少)	3,570	717
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△239	△199
特別修繕引当金の増減額 (△は減少)	△65	486
受取利息及び受取配当金	△300	△363
支払利息	3,725	1,738
持分法による投資損益 (△は益)	△2,277	△2,431
受取保険金	-	△41
売上債権の増減額 (△は増加)	9,245	△14,918
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,425	△34,961
仕入債務の増減額 (△は減少)	△31,352	23,694
未払揮発油税の増減額 (△は減少)	112	5,797
未払消費税等の増減額 (△は減少)	3,870	△8,724
その他	2,091	11,633
小計	△1,041	8,679
利息及び配当金の受取額	563	645
利息の支払額	△3,676	△1,716
保険金の受取額	-	41
法人税等の支払額	△1,836	△464
法人税等の還付額	0	258
営業活動によるキャッシュ・フロー	△5,989	7,442

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△8,192	△8,671
定期預金の払戻による収入	8,890	8,358
投資有価証券の取得による支出	△11	△1
投資有価証券の売却による収入	54	-
有形固定資産の取得による支出	△1,599	△4,539
有形固定資産の売却による収入	0	180
無形固定資産の取得による支出	△4	△383
貸付けによる支出	△0	△0
貸付金の回収による収入	38	38
その他	98	△100
投資活動によるキャッシュ・フロー	△726	△5,119
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	18,297	1,987
長期借入れによる収入	4,800	9,279
長期借入金の返済による支出	△14,133	△10,949
配当金の支払額	△769	△771
非支配株主への配当金の支払額	△1	△4
その他	△653	△771
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,539	△1,229
現金及び現金同等物に係る換算差額	△406	145
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	416	1,238
現金及び現金同等物の期首残高	7,912	8,329
現金及び現金同等物の期末残高	8,329	9,568

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 1 報告セグメントの概要

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

当連結グループは石油精製/販売事業のみの単一のセグメントであるため、記載を省略しています。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

当連結グループは石油精製/販売事業のみの単一のセグメントであるため、記載を省略しています。

## 2 報告セグメントに関連する情報

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

## (1) 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しています。

## (2) 地域ごとの情報

## ① 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しています。

## ② 有形固定資産

本邦に所在する有形固定資産が連結貸借対照表の有形固定資産の90%を超えるため、記載を省略しています。

## (3) 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高
出光興産株式会社	601,564

(注)当連結グループは、単一セグメントであるため、関連するセグメント名の記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

## (1) 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しています。

## (2) 地域ごとの情報

## ① 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しています。

## ② 有形固定資産

本邦に所在する有形固定資産が連結貸借対照表の有形固定資産の90%を超えるため、記載を省略しています。

## (3) 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高
出光興産株式会社	471,601
ENEOS株式会社	73,272

(注)当連結グループは、単一セグメントであるため、関連するセグメント名の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	926.31円	1,116.54円
1株当たり当期純利益金額	46.36円	201.09円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

項目	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	3,575	15,516
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	3,575	15,516
普通株式の期中平均株式数(株)	77,130,619	77,162,767

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 5. 個別財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,754	5,366
売掛金	67,280	82,205
商品及び製品	44,619	55,351
原材料及び貯蔵品	74,644	98,868
未収入金	1,970	6,191
前払費用	1,445	1,550
未収還付法人税等	255	-
その他	6,195	231
流動資産合計	201,166	249,766
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	4,144	4,096
油槽（純額）	2,651	2,483
構築物（純額）	7,487	7,062
機械及び装置（純額）	29,386	27,103
車両運搬具（純額）	1	0
工具、器具及び備品（純額）	161	345
土地	50,709	50,481
リース資産（純額）	91	67
建設仮勘定	1,141	1,666
有形固定資産合計	95,774	93,307
無形固定資産		
ソフトウェア	462	655
その他	7	117
無形固定資産合計	470	772
投資その他の資産		
投資有価証券	1,288	1,609
関係会社株式	12,078	12,078
長期貸付金	641	641
その他	459	636
貸倒引当金	△407	△407
投資その他の資産合計	14,061	14,558
固定資産合計	110,305	108,639
資産合計	311,471	358,405

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	34,756	57,574
短期借入金	133,696	136,383
1年内返済予定の長期借入金	10,949	9,259
未払金	26,560	24,824
未払費用	198	283
未払揮発油税	16,482	22,279
未払法人税等	155	2,541
賞与引当金	336	355
その他	5,617	11,613
流動負債合計	228,751	265,115
固定負債		
長期借入金	19,793	19,434
繰延税金負債	8,462	9,227
特別修繕引当金	2,387	2,874
修繕引当金	5,080	5,797
退職給付引当金	1,537	1,450
資産除去債務	104	105
その他	615	317
固定負債合計	37,981	39,207
負債合計	266,732	304,322
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	24,467	24,467
資本剰余金		
資本準備金	2,480	2,480
資本剰余金合計	2,480	2,480
利益剰余金		
利益準備金	154	231
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	16,437	28,171
利益剰余金合計	16,591	28,402
自己株式	△1,636	△1,636
株主資本合計	41,902	53,714
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	747	1,068
繰延ヘッジ損益	155	△2,633
土地再評価差額金	1,932	1,932
評価・換算差額等合計	2,835	368
純資産合計	44,738	54,082
負債純資産合計	311,471	358,405

## (2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	841,424	713,990
売上原価	832,795	692,811
売上総利益	8,628	21,178
販売費及び一般管理費	4,041	5,287
営業利益	4,587	15,891
営業外収益		
受取利息	17	21
受取配当金	240	147
為替差益	1,177	1,796
タンク賃貸料	217	207
その他	207	227
営業外収益合計	1,859	2,400
営業外費用		
支払利息	3,743	1,760
タンク賃借料	202	200
その他	694	719
営業外費用合計	4,639	2,680
経常利益	1,806	15,610
特別利益		
投資有価証券売却益	41	-
受取保険金	-	41
特別利益合計	41	41
特別損失		
固定資産除却損	420	20
減損損失	-	227
リース解約損	-	0
特別損失合計	420	248
税引前当期純利益	1,427	15,403
法人税、住民税及び事業税	1,064	2,600
法人税等調整額	△262	218
法人税等合計	802	2,819
当期純利益	625	12,584



(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自2022年4月1日 至2023年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	24,467	2,480	-	2,480	77	16,790	16,867
当期変動額							
剰余金の配当						△772	△772
剰余金の配当に伴う利益準備金の積立て					77	△77	-
当期純利益						625	625
自己株式の取得							
自己株式の処分			△128	△128			
利益剰余金から資本剰余金への振替			128	128		△128	△128
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				-			-
当期変動額合計	-	-	-	-	77	△352	△275
当期末残高	24,467	2,480	-	2,480	154	16,437	16,591

	株主資本		評価・換算差額等				純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額 金	評価・換算差額 等 合計	
当期首残高	△1,797	42,017	525	△591	1,932	1,866	43,884
当期変動額							
剰余金の配当		△772					△772
剰余金の配当に伴う利益準備金の積立て		-					-
当期純利益		625					625
自己株式の取得	△0	△0					△0
自己株式の処分	160	32					32
利益剰余金から資本剰余金への振替		-					-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		-	221	747		969	969
当期変動額合計	160	△114	221	747	-	969	854
当期末残高	△1,636	41,902	747	155	1,932	2,835	44,738

当事業年度(自2023年4月1日 至2024年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	24,467	2,480	-	2,480	154	16,437	16,591
当期変動額							
剰余金の配当						△773	△773
剰余金の配当に伴う利益準備金の積立て					77	△77	-
当期純利益						12,584	12,584
自己株式の取得							-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)							-
当期変動額合計	-	-	-	-	77	11,734	11,811
当期末残高	24,467	2,480	-	2,480	231	28,171	28,402

	株主資本		評価・換算差額等				純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額 金	評価・換算差額 等 合計	
当期首残高	△1,636	41,902	747	155	1,932	2,835	44,738
当期変動額							
剰余金の配当		△773					△773
剰余金の配当に伴う利益準備金の積立て		-					-
当期純利益		12,584					12,584
自己株式の取得	△0	△0					△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		-	321	△2,788		△2,467	△2,467
当期変動額合計	△0	11,811	321	△2,788	-	△2,467	9,343
当期末残高	△1,636	53,714	1,068	△2,633	1,932	368	54,082